

令和六年十月二十七日

第五十五回

田辺俳句大会句集

田辺市俳句連盟

田辺市中央公民館

目次

【一般の部】

知事賞・市長賞・寒子賞

教育委員会賞・中央公民館長賞・連盟賞

選者特選賞

入選作品一覧

【小学生・中学生の部】

連盟賞・努力賞

入選作品一覧

24	21	20	10	5	4	3	2
）	）		）	）			
29	23		19	9			

公募句【一般の部】入賞者

選者
(敬称略)

徳田 千鶴子
小杉 伸一路
堀本 裕樹
手拝 裕任

桐本 美恵子
中野 静子
川口 修
松本 武千代

尾崎 均
檜本 正巳

知事賞

麦藁帽脱いで話に風通す

明洋

尾崎 均

市長賞

登山靴富士の石ころ嚙んで来し

中万呂

堀 あや子

寒子賞

ハンカチの折り目正しき暮らしかな

稲成町

作田 岳雄

教育委員会賞

一湾に収めきれざる天の川

串本町

松下 弘

中央公民館長賞

夕涼み心の鎧脱ぎ捨てて

岡山県津山市

岡田 邦男

烏瓜引つぱれば空弾みをり

上屋敷

桐本 美恵子

掌に応へ返してくるる稲穂かな

白浜町

山本 容子

四囲の闇虫と暮らしてゐるやうな

文里

浜岡 美哉子

連盟賞

登校の会積涼しく横断す

芳養松原

米澤 百

土用浪父の海凶も古りにけり

芳養松原

川口 修

燃え洩りゐる送り火を急き立てず

みなべ町

山内 恵子

選者特選賞

徳田 千鶴子 選

萍の群れて自由も不自由も

有田市

吉田 鉄子

逆縁の吾子に一盞盆の月

大分県

小野 道山

烏瓜引つぱれば空弾みをり

上屋敷

桐本 美恵子

小杉 伸一路 選

夕涼み心の鎧脱ぎ捨てて

岡山県

岡田 邦男

登校の会釈涼しく横断す

芳養松原

米澤 百

麦藁帽脱いで話に風通す

明洋

尾崎 均

選者特選賞

堀本 裕樹 選

さつきまで猪の道らし暁の道

あけぼの

山中 晴美

土用浪父の海図も古りにけり

芳養松原

川口 修

四囲の闇虫と暮らしてゐるやうな

文里

浜岡 美哉子

手拝 裕任 選

太陽にアイスクリーム見せにけり

新庄町

吉岡 京子

麦藁帽脱いで話に風通す

明洋

尾崎 均

スーパ一の長きレシート台風来

芳養松原

米澤 百

桐本 美恵子 選

夕涼み心の鎧脱ぎ捨てて

岡山県

岡田 邦男

天つ日の燦燦と降り梅を干す

芳養松原

川口 修

麦藁帽脱いで話に風通す

明洋

尾崎 均

中野 静子 選

秋日濃し電波時計に狂ひなく

上富田町

宮内 信子

手抜きなき子育て雨の濡れ燕

下万呂

檜本 正巳

唐臼の陶土搗く音水の秋

芳養松原

川口 修

川口 修 選

秋の灯や仕事に就かず恋もせず

岡山県

岡田 邦男

登山靴富士の石ころ噛んで来し

中万呂

堀 あや子

麦藁帽脱いで話に風通す

明洋

尾崎 均

松本 武千代 選

明眸といふ涼しさに出逢ひけり

明洋

尾崎 均

登山靴富士の石ころ噛んで来し

中万呂

堀 あや子

ハンカチの折り目正しき暮らしかな

稲成町

作田 岳雄

尾崎 均 選

眼裏に還らざる日々銀河濃し

白浜町

中野 静子

あの頃の途切れぬ話ソーダ水

白浜町

山本 容子

回覧板届き昼寝の終はりけり

岡山県

岡田 邦男

檉本 正巳 選

一筋の水脈を曳きたる夏銀河

西牟婁郡白浜町

畑上 美代

掌に応へ返してくるる稲穂かな

白浜町

山本 容子

やをら立ち上がれば巨漢案山子翁

新庄町

松本 武千代

入選 徳田 千鶴子 選

草々の結ふ朝露の光かな	山本 容子	風入れや思ひ出詰まる旅鞆	堀 あや子
銘うすき舟形石棺こぼれ萩	中野 静子	廃園の青山仰ぐ百日紅	三谷 渉
観音を守るかに滝の白光す	山本 容子	生命線なぞる指さき夜のちちろ	中野 静子
送り火の終に息足す海の風	那須 重子	登山靴富士の石ころ嚙んで来し	堀 あや子
祖母に焚き父母に焚きつぐ門火かな	加藤 榮子	新涼や家丸ごとに開け放つ	堀 あや子
進む世に機械に出来ぬ注連をなう	那須 眞千代	深熊野の五百重の峰の鷹柱	川口 修
夕涼み心の鎧脱ぎ捨てて	岡田 邦男	燃え洩りゐる送り火を急き立てず	山内 恵子
橋杭の岩をも焦がす大夕焼	嶋田 嘉鶴子	麦藁帽脱いで話に風通す	尾崎 均
帰省子の時刻に合はせ米を研ぐ	岡田 邦男	お供へのまこと大きな盆燈籠	坂本 美子
本心は明かさぬままに懐手	岡田 邦男	喜雨きたり潤ひのなき心にも	桐本 美恵子
漁火を数へる波止の夜涼かな	武田 恵子	寛解の長兄の焚く門火かな	山本 容子
経唱ふ間にも解けて蓮の花	嶋田 嘉鶴子	もう渾名付けられている新教師	檜本 正巳
死にさうな暑さといへどガザよりは	尾崎 均	母の忌や西の彼方の遠花火	長尾 則夫
一湾に収めきれざる天の川	松下 弘	線香花火尽きて余情の募りけり	桐本 美恵子
絵日記の飛び出しそうな甲虫	吉岡 京子	装束のまま頬張るや氷菓子	桑原 康宏

入選 小杉 伸一路 選

図書館といふ恰好の避暑館	山内 恵子	美人の湯ひとり占めして河鹿聞く	前田 紀代子
暑き日を水平線にしまひ込む	春木 小桜子	土用浪父の海図も古りにけり	川口 修
押し入れが隠れ場所なり台風罹	みさを	一分の黙禱重し終戦忌	山内 恵子
梅雨明くる夜風の乾く気配して	藤原 加代子	回覧板届き昼寝の終はりけり	岡田 邦男
水鏡景色ととのふ代田かな	澤井 民子	ハンカチの折り目正しき暮らしかな	作田 岳雄
街に一つ村にも一つ今日の月	野口 キヨ子	豇豆干し熊野古道に住み古りぬ	川口 修
何はともあれ山頂の缶ビール	武田 恵子	私語ひとつ無き図書館の涼しさよ	浜岡 美哉子
帰省子の時刻に合はせ米を研ぐ	岡田 邦男	四囲の闇虫と暮らしてゐるやうな	浜岡 美哉子
でで虫の角ふる思案案内図	濱名 美乃恵	何事ぞ隊列組みし蟻の群れ	堀 あや子
登山帽とりて一札三角点	吉田 鉄子	夕風の頃見計らひ秋あかね	榎本 正巳
坪庭の梢の動きや小鳥来る	片倉 充子	色淡く涼しさを売る和菓子店	野口 キヨ子
一湾に収めきれざる天の川	松下 弘	ヨット部の合宿湖の見ゆる寺	春木 小桜子
閉店の間近かにせまり夏のれん	吉岡 京子	断崖の下は怒濤や海桐の実	片倉 充子
感嘆の声聞こえさう遠花火	坂井 マチ子	器なる湾を焦がして大夕焼	山本 容子
登山靴富士の石ころ噛んで来し	堀 あや子	道路鏡はみ出してゐる雲の峰	川口 修

入選 堀本 裕樹 選

うつむける扇風機あり亡父の間	三谷 渉	明眸といふ涼しさに出逢ひけり	尾崎 均
観音を守るかに滝の白光す	山本 容子	焼香を終へたる爪に緑雨かな	山月 恍
駆けてきて背に負ぶさる草の香よ	三ツ木 尚子	時々の風の香甘し蓮見頃	野口 キヨ子
梅雨明くる夜風の乾く気配して	藤原 加代子	この一樹ごつた返して蟬時雨	武田 恵子
熊楠の遊びし浜の新松子	中島 走吟	手抜きなき子育て雨の濡れ燕	檜本 正巳
マウンドに秋日集めてシンカーを	遠藤 玲奈	産土の神わたりゆく青田かな	中島 走吟
帰省子の時刻に合はせ米を研ぐ	岡田 邦男	掌に応へ返してくる稲穂かな	山本 容子
草々に追はれ一叢赤のまま	片倉 充子	燃え洩りゐる送り火を急き立てず	山内 恵子
太陽にアイスクリーム見せにけり	吉岡 京子	野仏は膝を萌して秋日かな	森 敏純
水仙は隠やかな死の白である	山崎 泰	麦藁帽脱いで話に風通す	尾崎 均
炭風鈴内なる木霊踊り出す	福角 美恵子	豇豆干し熊野古道に住み古りぬ	川口 修
木洩れ日を浮かべそうめん流しかな	北野 恵美子	寛解の長兄の焚く門火かな	山本 容子
農夫一人植田見渡す夕べかな	藤原 加代子	大滝のしぶきに尖る熊野杉	堀 康代
妣の日傘させば面影そこはかと	久保 久美子	健次忌や十九才はジャズの中	山中 晴美
空海の曼荼羅の闇鳥渡る	道 修一	先に逝く妻の名呼べば秋津舞ふ	竹中 秀夫

入選 手拝 裕任 選

水墨の白き瀑布や夏座敷	木村 罔夫	大西日校舎静かになりけり	山西 峰子
ひとつ風呂浴びし夜風に青葉梟	榎本 正巳	美人の湯ひとり占めして河鹿聞く	前田 紀代子
駆けてきて背に負ぶさる草の香よ	三ツ木 尚子	行幸の島を後目にカヌー漕ぐ	前田 紀代子
さつきまで猪の道らし暁の道	山中 晴美	彼の人も輪廻転生青蛙	福角 美恵子
キャンプの火褶曲岩を照らしけり	宮内 信子	燃え洩りゐる送り火を急き立てず	山内 恵子
熊楠の遊びし浜の新松子	中島 走吟	手放せし山あの辺り稲光	川口 修
街に一つ村にも一つ今日の月	野口 キヨ子	叱られし子の味方して祖母の夏	橋戸 千代子
何はともあれ山頂の缶ビール	武田 恵子	ハングルの校歌響けり夏の空	山西 峰子
登校の会釈涼しく横断す	米澤 百	観世流能装束のお風入れ	川口 修
登山帽とりて一札三角点	吉田 鉄子	ハンカチの折り目正しき暮らしかな	作田 岳雄
クレヨンの三色で咲くチューリップ	野口 成人	暑に耐ふやふたりの息を合はせつつ	松本 武千代
途切れては繋がる記憶ひよんの笛	中野 静子	這ひ這ひのじょうずじょうずと走り梅雨	磯 勢子
斑猫を追いかけてゆく子供かな	脇田 良樹	膝を叩いて炎天へ立つ庭師	北野 恵美子
登山靴富士の石ころ噛んで来し	堀 あや子	コスモスの海を分け行く車椅子	岡田 邦男
がらくたの中の一鉢君子蘭	榎本 正巳	断崖の下は怒濤や海桐の実	片倉 充子

入選 桐本 美恵子 選

群衆に息をつかせぬ大花火	山内 恵子	生命線なぞる指さき夜のちちろ	中野 静子
さよならの手が触れてゐる秋夕焼	松本 武千代	真つさらな風が生まれてくる立夏	野口 成人
捕虫網天を掬ふも地を伏すも	松本 武千代	登山靴富士の石ころ噛んで来し	堀 あや子
祖母に焚き父母に焚きつぐ門火かな	加藤 榮子	夕虹をなぞりゆるりと観覧車	檜本 正巳
でで虫の角ふる思案案内図	濱名 美乃恵	燃え洩りゐる送り火を急き立てず	山内 恵子
本心は明かさぬままに懐手	岡田 邦男	廃屋に摘む人なしや茶の新芽	澤井 民子
しがらみの多き人の世いわし雲	北野 恵美子	ハンカチの折り目正しき暮らしかな	作田 岳雄
天窓に透ける暑さのありにけり	米澤 百	四囲の闇虫と暮らしてゐるやうな	浜岡 美哉子
漁火を数へる波止の夜涼かな	武田 恵子	尺蠖の五分の身丈に五分の意地	小野 道山
木洩れ日を浮かべそうめん流しかな	北野 恵美子	もう渾名付けられている新教師	檜本 正巳
一湾に収めきれざる天の川	松下 弘	蟬落つる命の限り鳴き尽くし	堀 あや子
深熊野の風に残鶯こゑを研ぐ	堀 康代	満天の星降る里や夜干梅	堀 康代
明眸といふ涼しさに出逢ひけり	尾崎 均	コスモスの海を分け行く車椅子	岡田 邦男
ぎこちなく斧振り上ぐる子蠅螂	畑上 美代	断崖の下は怒濤や海桐の実	片倉 充子
余韻のみ置き去りにして花火果つ	腰前 八重子	世の流れ老いには難し古団扇	那須 重子

入選 中野 静子 選

水墨の白き瀑布や夏座敷	木村 罔夫	帰省子の明日は発つてふ皆地笠	山中 晴美
青田風真つ只中に父の墓	吾 亦紅	夕虹をなぞりゆるりと観覧車	榎本 正巳
慎ましき昭和の厨ちちろ虫	堀 あや子	叱られし子の味方して祖母の夏	橋戸 千代子
逆縁の吾子に一盞盆の月	小野 道山	ハングルの校歌響けり夏の空	山西 峰子
桐箱のへその緒軽し鳳仙花	三ツ木 尚子	俎板に母のリズムや夏料理	宮内 信子
足元に猫侍らせて大昼寝	坂井 マチ子	豇豆干し熊野古道に住み古りぬ	川口 修
その性の果てを焼かれて罔鮎	榎本 正巳	生くるとは迷ふことなり通し鴨	那須 重子
伊達で無し老の目守るサングラス	澤井 民子	帰省子の目に焼きつけし波の綺羅	福角 美恵子
山の寺供物にどんと今年米	松下 富子	ダムの秋青畝の句碑に辿り着き	浜岡 美哉子
とんぼうの輪舞や帰路の子にまとひ	畑上 美代	対岸の湯宿の灯る夜の秋	池田 昌子
音高く去来に聞かせばつたんこ	川口 修	月に読む妻の遺した短文	道 修一
己が香を一夜の闇へ女王花	山本 容子	装束のまま頬張るや氷菓子	桑原 康宏
時々の風の香甘し蓮見頃	野口 キヨ子	やをら立ち上がれば巨漢案山子翁	松本 武千代
かわたれに琴柱を立てる秋立つ日	三谷 涉	更地増へ人の成り行き蚯蚓鳴く	米澤 百
茶屋跡のとなり塚跡そばの花	武田 恵子	世の流れ老いには難し古団扇	那須 重子

入選 川口 修 選

群衆に息をつかせぬ大花火	山内 恵子	伸びのある声哀へず羽抜鶏	那須 眞千代
大空を汚す雲なき大旱	那須 眞千代	己が香を一夜の闇へ女王花	山本 容子
暑き日を水平線にしまひ込む	春木 小桜子	余韻のみ置き去りにして花火果つ	腰前 八重子
慎ましき昭和の厨ちちろ虫	堀 あや子	すやすやと夏ざぶとんの寝顔かな	吉岡 京子
古本屋並ぶ駅裏涼新た	手拝 なをみ	巡視船名月天に接岸す	堀 康代
マウンドに秋日集めてシンカーを	遠藤 玲奈	新涼や家丸ごとに開け放つ	堀 あや子
橋杭の岩をも焦がす大夕焼	嶋田 嘉鶴子	寒蟬の声降りそそぐ誓子の碑	松本 武千代
庭も又酷暑に喘ぎ水欲す	腰前 八重子	ハングルの校歌響けり夏の空	山西 峰子
漁火を数へる波止の夜涼かな	武田 恵子	乾く畑匂ふ大地や早星	松場 一
神饌とせり縞目かがやく初鯉	堀 康代	ハンカチの折り目正しき暮らしかな	作田 岳雄
途切れては繋がる記憶ひよんの笛	中野 静子	天守より三の丸へと虹の橋	嶋田 嘉鶴子
遊泳の立ち入り禁止札のゆれ	永井 富美子	膝を叩いて炎天へ立つ庭師	北野 恵美子
一湾に収めきれざる天の川	松下 弘	松笠の青さよ空よ灘日和	桐本 美恵子
蒼茫の空がすぐそこお花畑	山中 晴美	ヨット部の合宿湖の見ゆる寺	春木 小桜子
早稲の香や国の平和を疑はず	松下 富子	父と子のリュック背中に富士登山	満仔子

入選 松本 武千代 選

慎ましき昭和の厨ちちろ虫	堀	あや子	深熊野の五百重の峰の鷹柱	川口	修
乱帙の書屋に遺愛の団扇かな	前田	紀代子	掌に応へ返してくるる稲穂かな	山本	容子
一碧の天一山の蟬しぐれ	堀	康代	日焼田に水伸びずして夜の明けり	那須	眞千代
烏瓜引つばれば空弾みをり	桐本	美恵子	土用浪父の海図も古りにけり	川口	修
登校の会釈涼しく横断す	米澤	百	夕虹をなぞりゆるりと観覧車	榎本	正巳
白昼の瑠璃一閃の蜥蜴かな	榎本	正巳	一分の黙禱重し終戦忌	山内	恵子
途切れては繋がる記憶ひよんの笛	中野	静子	麦藁帽脱いで話に風通す	尾崎	均
古里をカバンに詰めて帰省の子	久保	久美子	本堂に経知り尽くす釣忍	中島	走吟
妣の日傘させば面影そこはかと	久保	久美子	青天の海へ木の間の黒揚羽	知野	伸一
一湾に収めきれざる天の川	松下	弘	俎板に母のリズムや夏料理	宮内	信子
絵日記の飛び出しそうな甲虫	吉岡	京子	健次忌の海鳴り高し枯木灘	山中	晴美
蒼茫の空がすぐそこお花畑	山中	晴美	豇豆干し熊野古道に住み古りぬ	川口	修
故里に血縁うすれゆく墓参	川口	修	四囲の闇虫と暮らしてゐるやうな	浜岡	美哉子
滝の前結跏趺坐組む石の上	川口	修	満天の星降る里や夜干梅	堀	康代
真つさらな風が生まれてくる立夏	野口	成人	コスモスの海を分け行く車椅子	岡田	邦男

入選 尾崎 均 選

黙禱を深く沈めし鐘と蟬	作田 岳雄	この一樹ごつた返して蟬時雨	武田 恵子
水墨の白き瀑布や夏座敷	木村 圀夫	すやすやと夏ざぶとんの寝顔かな	吉岡 京子
図書館といふ恰好の避暑館	山内 恵子	産土の神わたりゆく青田かな	中島 走吟
暑き日を水平線にしまひ込む	春木 小桜子	茶屋跡のとなり塚跡そばの花	武田 恵子
捕虫網天を掬ふも地を伏すも	松本 武千代	深熊野の五百重の峰の鷹柱	川口 修
鶏小屋を追い出すのみの蛇退治	那須 眞千代	掌に応へ返してくるる稲穂かな	山本 容子
咲く一心今散る不乱紅はちす	那須 重子	曙光に翼軋ませ鳥渡る	野口 キヨ子
一碧の天一山の蟬しぐれ	堀 康代	生くるとは迷ふことなり通し鴨	那須 重子
烏瓜引つばれば空弾みをり	桐本 美恵子	もう渾名付けられている新教師	樫本 正巳
観覧車動き動かぬ雲の峰	石垣 実男	ただ一人迎え火焚いて夫待つ	前田 公子
槐の花葉と日と混ざりちらかれり	磯 勢子	唐臼の陶土搗く音水の秋	川口 修
その性の果てを焼かれて囀	樫本 正巳	酷暑中でいねいに生き茶碗割る	磯 勢子
白昼の瑠璃一闪の蜥蜴かな	樫本 正巳	松笠の青さよ空よ灘日和	桐本 美恵子
炭風鈴内なる木霊踊り出す	福角 美恵子	枝を真似枝を仕立てて土壇割	松本 武千代
木洩れ日を浮かべそうめん流しかな	北野 恵美子	道路鏡はみ出してゐる雲の峰	川口 修

入選 檉本 正巳 選

草々の結ふ朝露の光かな	山本 容子	登山靴富士の石ころ噛んで来し	堀 あや子
大寺に満ち干あるかに蟬時雨	小野 道山	深熊野の五百重の峰の鷹柱	川口 修
青柿落つ天地の恵みはちきれし	久保 久美子	彼の人も輪廻転生青蛙	福角 美恵子
さよならの手が触れてゐる秋夕焼	松本 武千代	経塚を包み赫ふ秋夕焼	遠藤 玲奈
深熊野の前触れも無き夕立かな	宮内 信子	あの頃の途切れぬ話ソーダ水	山本 容子
夜焚船舫ひ綱投ぐ波止の子に	藤原 加代子	麦藁帽脱いで話に風通す	尾崎 均
流れ星幼なは願ひ予習して	山西 峰子	籐椅子の凹みや風に考の影	久保 久美子
祖母に焚き父母に焚きつぐ門火かな	加藤 榮子	本堂に経知り尽くす釣忍	中島 走吟
烏瓜引つぱれば空弾みをり	桐本 美恵子	行き行きて花野は波の音すなり	中野 静子
火蛾焼いて法の灯火の揺らぎけり	内川 流邦	回覧板届き昼寝の終はりけり	岡田 邦男
山の寺供物にどんと今年米	松下 富子	生くるとは迷ふことなり通し鴨	那須 重子
一湾に収めきれざる天の川	松下 弘	出来損ないだけどカレーに夏野菜	橋戸 千代子
この一樹ごつた返して蟬時雨	武田 恵子	ドームなほ人の愚曝す広島忌	藤原 加代子
滝の前結跣坐組む石の上	川口 修	忘れゆく母と数へる李かな	島本 美紀
真つさらな風が生まれてくる立夏	野口 成人	枝を真似枝を仕立てて土壇割	松本 武千代

公募句【小学生・中学生の部】入賞者

選者（敬称略）

桐本 美恵子

川口 修

堀 あや子

宮内 信子

連盟賞【小学生の部】

きれいだなしろつめくさのゆびわだよ

芳養小二年

柴田 美奈

道のえき屋根の下にはつばめの巢

三里小六年

中根 仙太郎

努力賞【小学生の部】

たんざくにねがいをかいたほしまつり

芳養小一年

嶋本 悠乃

かたつむり葉っぱにのっておひっこし

芳養小四年

川口 琳那

帰り道ぼくを追いこすとんぼたち

上秋津小五年

藍畑 一心

ちゆうをまう赤い炎のもみじかな

上秋津小五年

中山 彰之助

連盟賞【中学生の部】

さくらんぼふたごみたいなおともだち

明洋中一年

中谷 真人

ひまわりのいちずなすがたあこがれる

明洋中一年

中面 優渚

夏休み観覧車の上絶景だ

新庄中一年

岩口 扇

努力賞【中学生の部】

初恋が花火と共に消えていく

明洋中一年

石山 莉子

パラパラと消えてく花火切ないな

明洋中一年

大野 愛夢

夏の川中にもぐると新世界

明洋中一年

佐々木 詩

夏休みこうかないよう楽しむぞ

明洋中一年

鈴木 治親

しんせきの犬といっしょに遊ぶ夏

新庄中一年

コンフォルティ 海人

炎天下坂道自転車部活後

新庄中一年

谷口 來実

夏の空ラケットをふるぼくたちだ

新庄中一年

山本 蒼波

入選【小学生の部】 桐本 美恵子 選

重いみこしぼくの背中にたれる汗

本宮小五年

杉山 颯汰

落ち葉舞うさらさらさらとそよ風に

会津小五年

濱中 望羽

ふうりんがかぜにゆられておどつてる

芳養小一年

井澗 莉乃

なつよるきらきらひかるお星さま

会津小六年

竹本 織維香

たんぎくにねがいをかいたほしまつり

芳養小一年

嶋本 悠乃

ドンドンと家で聞こえる火花かな

会津小六年

坪井 結人

きれいだなしろつめくさのゆびわだよ

芳養小二年

柴田 美奈

ひがあたりダンスをしてるひまわりだ

会津小六年

山本 恋々菜

おとうとがうまれてきたよううれしいな

芳養小二年

谷口 律太

ねたあともせんぷうきだけ残葉だ

会津小六年

湯浅 実央梨

すいかわりみんなをしんじさあいまだ

芳養小二年

那須 凱生

帰り道ぼくを追いこすとんぼたち

上秋津小五年

藍畑 一心

かきごおりわたしのすきなブルーハワイ

芳養小二年

山口 莉加

秋の池月のかがやきうつくしい

上秋津小五年

岡内 蒼桜

台風でおかしいっぱい買って来た

芳養小三年

岡野 修也

落葉ふみいい音なつてうれしいな

上秋津小五年

岡田 海斗

かたつむり葉っぱにのつておひっこし

芳養小四年

川口 琳那

赤とんぼ夕焼け空を舞っている

上秋津小五年

杉若 里保

わりたいたなドカーンといい音スイカわり

芳養小四年

濱田 貴弘

ちゅうをまう赤い炎のもみじかな

上秋津小五年

中山 彰之助

落ちるかなもみじの葉っぱ落ちるかな

芳養小五年

井上 絆琉

秋の海月のかがやきうつしだす

上秋津小五年

舛岡 煌星

夏休みあつというまに終わったね

芳養小六年

中田 光紀

大花火見上げた空にぼくの夢

上山路小五年

古久保 響斗

さくらんぼ風にゆらゆらおどつてる

会津小五年

大倉 実莉

かきごおりブルーハワイがお気にいり

三里小三年

須川 光恵

かぶと虫みつをさがしに旅へ出る

会津小五年

八山 天道

道のえき屋根の下にはつばめの巢

三里小六年

中根 仙太郎

夏休み溜まる宿題見ないふり

会津小五年

濱口 俊也

つかみたい泳いで見つけた鮎たちを

咲楽小四年

加藤 雄仁

入選【小学生の部】 川口 修 選

プールをねデッキブラシでゴシゴシと

本宮小五年

堺 玲莉愛

ぶどうがりいっぱい取ったおいしそう

芳養小五年

那須 悠生

重いみこしぼくの背中にたれる汗

本宮小五年

杉山 颯汰

かき氷マンゴー味がはまったよ

芳養小五年

山内 優愛

本宮を桜と見守る大鳥居

本宮小六年

内野 紗希

フジバカマアサギマダラをさそってる

会津小五年

赤嶋 杏亮

あめがふるやんだあとにはにじがでる

芳養小一年

さわだ ゆうえい

せんふうきうごいたままにねむりつく

会津小五年

岡本 章太

きれいだなしろつめくさのゆびわだよ

芳養小二年

柴田 美奈

リリリリココロギたちの合唱部

会津小五年

月森 泉

ならのしかせんべいあげたおおきにだ

芳養小二年

大門 琉華

風鈴がちりんちりんとかぜとおる

会津小五年

那須 一樹

なつやすみこん虫さがしたのしいな

芳養小二年

峯 未風

サマードレス生ぬるい風裾めくる

会津小六年

池浦 亜美

とうだいじこじかげんきにぞだつてる

芳養小二年

横矢 桐一

日があたりキラリと光るミニトマト

会津小六年

苔原 由依

台風でおかしいっぱい買って来た

芳養小三年

岡野 修也

風のふくゆらりときらめく夏の海

会津小六年

山本 花愛

ひまわりはにっこりわらうよたいように

芳養小四年

池森 結唯

秋の池月のかがやきうつくしい

上秋津小五年

岡内 蒼桜

波の音耳をすまして夏が来た

芳養小四年

岩崎 杏珠

七輪でサンマを焼いて食べたいな

上秋津小五年

笠松 洗斗

かぶと虫みつにむちゅうとりあいだ

芳養小四年

大西 桃愛

平泳ぎ十三メートル泳ぎたい

秋津川小五年

山本 のあ

かたつむり葉っぱにのつておひっこし

芳養小四年

川口 琳那

サングラスをかけて今すぐ出発だ

田三小五年

廣島 小夏

海風にふうりんゆるゆるらゆらと

芳養小五年

神向 優奈

ピーマンの苦いところがきらいだよ

上山路小四年

寒川 はく

なつやすみ海へもぐるよダイビング

芳養小五年

末國 奏和

道のえき屋根の下にはつばめの巣

三里小六年

中根 仙太郎

入選【小学生の部】 堀 あや子 選

ツバメの巢ヒナが元気に鳴いている	本宮小五年	服部 琉歌	せんふうきまずひとことめああああ	会津小五年	堀部 佐奈
本宮を桜と見守る大鳥居	本宮小六年	内野 紗希	食べたいな空の綿あめ夏の空	会津小六年	尼田 咲江
たんぎくにねがいをかいたほしまつり	芳養小一年	嶋本 悠乃	プール出てケンケンをして耳の水	会津小六年	檜木 玲央汰
きれいだなしろつめくさのゆびわだよ	芳養小二年	柴田 美奈	日があたりキラリと光るミニトマト	会津小六年	苔原 由依
どうだいじこじかげんきにそだつてる	芳養小二年	横矢 桐一	ドンドンと家で聞こえる花火かな	会津小六年	坪井 結人
波の音耳をすまして夏が来た	芳養小四年	岩崎 杏珠	ふうりんが風にあおられ合唱だ	会津小六年	野田 彩乃
夏休み一人るすばんユーチューブ	芳養小四年	富田 侑希	帰り道ぼくを追いこすとんぼたち	上秋津小五年	藍畑 一心
わりたいなドカーンといい音スイカわり	芳養小四年	濱田 貴弘	落葉ふみいい音なつてうれしいな	上秋津小五年	岡田 海斗
ただいまと一言いってアイス食う	芳養小四年	布袋 那智	風の音いなほがゆれてすぎてゆく	上秋津小五年	中元 一花
夏祭りみんな大好きりんごあめ	芳養小五年	加納 芭菜	ちゅうをまう赤い炎のもみじかな	上秋津小五年	中山 彰之助
父親と川原でキャンプうれしいな	芳養小六年	庄司 絆輝	むぎばたけどこまでゆくのこがねいろ	上秋津小五年	中山 亨
ねころがるみみをすませばむしのこえ	会津小五年	庄司 結乃花	小五の秋がんの人に毛をプレゼント	田三小五年	瀬嶋 優月
見上げると花火が見えた屋根の上	会津小五年	長尾 心遙	外遊び汗がしたたる五時間目	三里小六年	井上 真綾
ピカピカと小さな川でとぶホタル	会津小五年	西村 旺志郎	ひまわりと身長比べ負けたかな	三里小六年	鈴木 那葉
夏休み溜まる宿題見ないふり	会津小五年	濱口 俊也	道のえき屋根の下にはつばめの巢	三里小六年	中根 仙太郎

入選【小学生の部】 宮内 信子 選

たいこ打つ本宮祭り舞う桜	本宮小六年	乾 らいさ	かぶと虫みつをさがしに旅へ出る	会津小五年	八山 天道
卒業式バトン受けとり六年に	本宮小六年	川辺 渉太郎	食べたいな空の綿あめ夏の空	会津小六年	尼田 咲江
たんぎくにねがいをかいたほしまつり	芳養小一年	嶋本 悠乃	終わらない夏の宿題最終日	会津小六年	岩間 颯佑
きれいだなしろつめくさのゆびわだよ	芳養小二年	柴田 美奈	帰り道ぼくを追いこすとんぼたち	上秋津小五年	藍畑 一心
ひまわりはにっこりわらうよたいように	芳養小四年	池森 ゆい	秋になりいるとりどりのたかお山	上秋津小五年	石川 華乃
夏休みやりたい事は全てした	芳養小四年	内山 美乃	けいろうの日かんしやをこめてありがとう	上秋津小五年	竹下 乃愛
かたつむり葉っぱにのっておひっこし	芳養小四年	川口 琳那	赤とんぼ夕焼けに飛ぶ大行進	上秋津小五年	谷本 凜空
落ちるかなもみじの葉っぱ落ちるかな	芳養小五年	井上 絆琉	ちゅうをまう赤い炎のもみじかな	上秋津小五年	中山 彰之助
立春は春が始まるしるしだよ	芳養小六年	小山 杏奈	平泳ぎ十三メートル泳ぎたい	秋津川小五年	山本 のあ
夏休み全国大会優勝だ	芳養小六年	中村 斗弥	夏休み旅行先でのハプニング	田三小五年	谷川 治陽
フジバカマアサギマダラをさそってる	会津小五年	赤嶋 杏亮	雪だるまみんなといっしょにつくろうよ	上山路小四年	山下 颯馬
雨上がりざっそうしげるぐんぐんと	会津小五年	惠中 咲羽	大花火見上げた空にぼくの夢	上山路小五年	古久保 響斗
さくらんぼ風にゆらゆらおどってる	会津小五年	大倉 実莉	かきごおりブルーハワイがお気にいり	三里小三年	須川 光恵
冬の時期雪の寒さに凍ります	会津小五年	谷本 志音	ひまわりと身長比べ負けたかな	三里小六年	鈴木 那葉
夏空にボールを追ったグラウンド	会津小五年	中瀬 陽大	道のえき屋根の下にはつばめの巣	三里小六年	中根 仙太郎

入選【中学生の部】 桐本 美恵子 選

入選【中学生の部】 川口 修 選

初恋が花火と共に消えていく	明洋中一年	石山 莉子	パラパラと消えてく花火切ないな	明洋中一年	大野 愛夢
セミの音体温だんだん熱くなる	明洋中一年	井上 富久	快晴の暑さ吹きとぶ壮大さ	明洋中一年	皆瀬 大翔
ミンミンとセミがみんな歌ってる	明洋中一年	梅田 希	夏休みこうかいなよう楽しむぞ	明洋中一年	鈴木 治親
夏の川中にもぐると新世界	明洋中一年	佐々木 詩	さくらんぼふたごみたいなおともだち	明洋中一年	中谷 真人
夏休みこうかいなよう楽しむぞ	明洋中一年	鈴木 治親	ひまわりのいちずなすがたあこがれる	明洋中一年	中面 優渚
さくらんぼふたごみたいなおともだち	明洋中一年	中谷 真人	終わらない何かに追われる夏休み	明洋中一年	中松 匠吾
ひまわりのいちずなすがたあこがれる	明洋中一年	中面 優渚	ひまわりの黄色でいっぱい花畑	明洋中一年	細尾 愛奈
終わらない何かに追われる夏休み	明洋中一年	中松 匠吾	たのしみなあさがおわらうあさの日を	明洋中一年	渕崎 迪也
花火見て小さいころを思い出す	明洋中一年	橋本 遥	夏休み観覧車の上絶景だ	新庄中一年	岩口 扇
ひまわりの黄色でいっぱい花畑	明洋中一年	細尾 愛奈	夏休み休まず部活やせるかな	新庄中一年	上仲 琉偉
夏休み観覧車の上絶景だ	新庄中一年	岩口 扇	しんせきの犬といっしょに遊ぶ夏	新庄中一年	コンフォルティ 海人
夏休み休まず部活やせるかな	新庄中一年	上仲 琉偉	夏休みゲームがまんし宿題を	新庄中一年	武田 結愛
しんせきの犬といっしょに遊ぶ夏	新庄中一年	コンフォルティ 海人	暑い空しかいに入る大仏よ	新庄中一年	谷口 瑞季
炎天下坂道自転車部活後	新庄中一年	谷口 來実	カラオケで楽しんでいるなつやすみ	新庄中一年	森山 莉乃
夏の空ラケットをふるぼくたちだ	新庄中一年	山本 蒼波	夏の空ラケットをふるぼくたちだ	新庄中一年	山本 蒼波

入選【中学生の部】堀 あや子 選

入選【中学生の部】宮内 信子 選

初恋が花火と共に消えていく	明洋中一年	石山 莉子	川辺での花火大会きれいだな	明洋中一年	赤坂 紗良
せんぷうきボタンひとつでぬるいかぜ	明洋中一年	岩井 萌乃佳	初恋が花火と共に消えていく	明洋中一年	石山 莉子
パラパラと消えてく花火切ないな	明洋中一年	大野 愛夢	夏休み川の流れるのはよいこと	明洋中一年	上森 心順
夏の川中にもぐると新世界	明洋中一年	佐々木 詩	パラパラと消えてく花火切ないな	明洋中一年	大野 愛夢
部活動日光あびて汗光る	明洋中一年	橘 晴人	夏の川中にもぐると新世界	明洋中一年	佐々木 詩
ラムネびんこぼれた後は雨上がり	明洋中一年	中口 栞	夏休みこうかいがないよう楽しむぞ	明洋中一年	鈴木 治親
さくらんぼふたごみたいなおともだち	明洋中一年	中谷 真人	部活動日光あびて汗光る	明洋中一年	橘 晴人
ひまわりのいちずなすがたあこがれる	明洋中一年	中面 優渚	さくらんぼふたごみたいなおともだち	明洋中一年	中谷 真人
花火見て小さいころを思い出す	明洋中一年	橋本 遥	ひまわりのいちずなすがたあこがれる	明洋中一年	中面 優渚
たのしみなあさがおわらうあさの日を	明洋中一年	渕崎 迪也	せみの声とだえる事無き一ヶ月	明洋中一年	平阪 璃桜
夏休み観覧車の上絶景だ	新庄中一年	岩口 扇	りんごあめかがやいていて美しい	明洋中一年	松本 由衣里
しんせきの犬といっしょに遊ぶ夏	新庄中一年	コンフォルティ 海人	夏休み観覧車の上絶景だ	新庄中一年	岩口 扇
部活中空みあげると夏の空	新庄中一年	瀧本 結心	部活中空みあげると夏の空	新庄中一年	瀧本 結心
炎天下坂道自転車部活後	新庄中一年	谷口 來実	炎天下坂道自転車部活後	新庄中一年	谷口 來実
夏の空ラケットをふるぼくたちだ	新庄中一年	山本 蒼波	セミの声響く中での勉強中	新庄中一年	山本 空